



2019 オートバックス全日本カート選手権 OK 部門 第9戦・10戦

開催場所 ツインリンクもてぎ(栃木県)
開催日 11月16日・17日
参加台数 OKクラス 29台
天候 晴れ
路面状況 ドライ

～INTREPID JAPAN CORSE～

監督:佐藤奨二

ドライバー:水野皓稀 / 佐藤凌音

メカニック:伊藤進/徳和 照之(橋本剛基)

エンジン担当:K SPEED WIN

アドバイザー:井上寛之



2019 全日本カート選手権 第9&10戦 (ツインリンクもてぎ)

つい先日開幕したと思った全日本も気付けば最終戦。第9&10戦は去年の開幕の地、そして来シーズンの開幕の地でもある栃木県ツインリンクもてぎ北ショートコース。ここまでは良フィーリングとは裏腹に最高順位は水野の2位とOKクラスのレベルの高さと世界でも稀なスペシャルタイヤでのレースに改めて全日本の難しさや奥の深さを感じるシーズンになっています。最終戦も海外からイヤニック選手や去年のチャンピオンの佐藤選手の参戦と、さらにハードルは上がりますが、水野には是非自身最高成績である優勝とルーキーの佐藤には開幕戦の鈴鹿でトップを走って以来のトップ走。そしてチーム一丸で最高の成績を目指して頑張り、有終の美を目指したいと考えています。



水野 皓稀 選手



佐藤 凌音 選手



【タイムトライアル】 B組水野 5位(全体 9位) / B組佐藤 4位(全体 7位)

木曜日からの練習走行から佐藤は非常に好調、水野は茂原からの流れを引きずるようにマシンのフィードリングを掴めずにいた。気温はさすがにこの時期の茂木は朝と昼の寒暖差も大きく、その名の通りのスペシヤルタイヤにはその温度差がどう出るのか？読めない部分もある。タイムトライアルの抽選の結果、水野・佐藤ともに B 組となる。今大会も恐らくタイムトライアルでは A 組が若干有利と思われるがどうだろう……。タイムトライアルは先ずは A 組が午後 14 時 20 分にスタート。B 組はおよそ 10 分後のスタートとなった。タイムトライアルスタート直後は各選手ゆっくと熱入れをし、2 周目～3 周目にタイムアタックモードへと突入。タイムトライアルが始まり 5 分ほどが経過すると水野がトップタイムをマーク。すかさず佐藤がタイムを上回る。今回は佐藤の調子が良くタイム的にはもっと出そうであったが、場所取りが悪くペースアップできず……。ポテンシャルとしては B 組の 2 位くらいには楽に入れそうな雰囲気があっただけに残念。結果、やはり全体的には A 組の方に分があり水野は B 組の 5 位で全体 9 位。佐藤は B 組の 4 位で全体では 8 位となった。水野は苦しみながらも最低限の結果を、佐藤はもったいない結果となった。



【第 9 戦 予選】 水野 11 位 / 佐藤 13 位(F スポイラー脱落ペナルティ)



タイムトライアルの結果、上位は BRIDGESTONE タイヤが独占状態。素晴らしい機能を発揮している。第 9 戦予選は少し日が陰り気温が下がり始めた 15:45 に 2 週のディレイを挟みスタート。スタートで佐藤は大きく出遅れる。水野はまずまずのスタートに見える。水野はスタートこそ順調な滑り出しに見えたが、やはり何かグリップ不足のような表情が顔を見せ始める。チームメイトの佐藤は今回は水野よりスピードがあるものの冷静さを欠きスタート失敗。しかしタイムは水野よりコンマ 1～2 ほど速く、前方のマシンを次々にパスしていく。対照的に水野は後方のマシンにパスをされ水野は 11 位でゴール。また素晴らしい追い上げで 7 位にまで

ポジションを戻した佐藤であったが、スタートの時なのかパッシングの時なのかフロントスポイラー脱落があり 5 秒のペナルティとなる……。佐藤は今シーズン何回目のフロントスポイラー脱落であろう……。スピードがあっただけに本当にもったいない。予選のレース結果でも BRIDGESTONE タイヤ勢が上位を独占。今シーズンのタイヤサプライヤーチャンピオンとしてのポテンシャルをいかに発揮した大会となっている。



【第9戦 決勝】 水野 10位 / 佐藤 12位



OK クラス第9戦、26週の決勝は日付変わって日曜日、午前9時25分にスタート。天候は朝の寒さはあれど晴天だ。スタートは水野は無難なスタートを決める。しかし佐藤はポジションを数ポジション落とす痛いスタートに…。スタート直後から1位～15位くらいまで綺麗な列となる様相で各所ポジション争いをしながらレースは進行していく。レース前半、水野はこの隊列の8番手。しかしアベレージのスピードがわずかコンマ1ではあるものの足りない…。また水野がこのレースウィークを通して訴えているグリップ不足のような症状がやはり出ているようで、コンマ1をリ

カバリーできるドライビングも難しい状態に…。対照的にスピードはある佐藤。スタートで順位を落としたものの16位から前方のマシンを次々パスし残り9周をのこしチームメイトの水野をパス。そこから佐藤のスピードは落ちずさらに前方のマシンも捉える。まだまだ粗削りなドライビングの佐藤だがなんとかレース後半もタイヤは残っているようだ。佐藤は6位にまで順位を上げる。しかし、ここでタイヤがなくなりつつあったのか最終セクションの手前、S字の立ち上がりでダートへとみ出してしまふ…。この手痛いミスと、ダートに落ちたことによるタイヤへのダメージで順位はグングン後退…。結果、水野は10位、佐藤は12位のまじしてもったいないレースとなった。



【第10戦 予選】 水野 15位 / 佐藤 3位

いよいよこれが本当の最終戦。第10戦の予選は11時45分にスタート。予選は16周となっている。気温はこれまでのなかで一番温かいであろうという雰囲気。路面温度もこの時期にしては上昇しているかもしれない。各車新品タイヤを履きなおしてのこの一戦。水野はこの路面温度の助けを借りて上位へ伺いたいところ、佐藤は上手くタイヤマネジメントをしながらスピードを發揮できるかがカギだ。スタートでは大きく出遅れる選手も出ず、佐藤はスタートで6位にポジションアップ。しかし水野は厳しい…。根本的に何かを変えようとスペアシャーシにスイッチしたが逆にもっとペースが悪い…。なんとかシリーズランキングも上位を伺いたいだけに、予選すら重要な一戦なのだが…。苦しみ順位を下げてしまう水野。佐藤は対照的に非常に調子が良くタイムもトップタイムとほぼ変わらず順位を順調に上げていく。大事なレースのまだ予選とあり、また選手によってはチャンピオン争いでストップすると脱落するという条件もありレースはややおとなし目の展開に。佐藤も順位を上げつつタイヤマネジメントを考える余裕もあったようだ。佐藤は自身開幕の鈴鹿以来の前方でのレース。速さはあるだけにもっとレーススキルやバトルでの真のスキルが欲しいところだ。レースは16周を消化し水野は非常に苦しみ15位。佐藤は速さを見せ3位となった。



【第10戦 決勝】水野 17位 / 佐藤 D.N.F (リタイア)

OK クラス最終戦、第10戦の決勝は午後15時40分にスタート。しかし3位スタートの佐藤凌音に悲劇が・・・前車の失速を上手くかわすことが出来ず、併せて失速・・・こんどは後続と接触し2コーナーでコースアウト・・・マシンは大きく大破しリタイアとなってしまった・・・。また最終戦にして絶不調になってしまった水野も最後までペースが上がらず防戦一方に・・・。決勝でも症状を解決できずに最終戦の大事なレースを17位で終えるという無念の結果となりました。チームの中にいないと分からないのですが、チームやスペックは本当に進化しているのです。・・・が、なかなか結果を出せず残念です。今シーズンは極めて勝利に近いコンディションとポテンシャルに到達したケースが何度もありましたが、その都度取りこぼしてしまった場面がありました・・・その都度あと一步の難しさを噛みしめシーズンを過ごしましたが、最終戦もリベンジならずでした・・・勝つ時は今大会も来日したイヤニック選手と2009年にワールドカップを制した時の様にパチーンとあっけなく勝つのですが・・・。兎にも角にも今シーズンは終わりました。最終戦を有終の美で飾れず申し訳ない気持ちで一杯ですが、今シーズンもお支え頂いた皆様へ心よりの感謝を申し上げます。また、シリーズチャンピオンを決めた佐々木大樹選手とブリヂストンタイヤ。本当におめでとうございました。僕たちもまた祝福の言葉を貰える立場に戻れるように頑張ります！今シーズンも様々な方よりお支え頂きました。本当に今シーズンもお世話になりありがとうございました。



#33 ドライバー 水野皓稀 コメント



今回の茂木大会ではタイムが中々出ず
タイムトライアルでは苦しい中なんとか9番手タイムでした。
第9戦の予選ではスピードが足りず11位に落ちてしまい
決勝では1つ順位を上げ10位でフィニッシュでした。
第10戦の予選ではセットを変更し臨んだのですが
うまく噛み合わず15位ゴール、決勝では大幅にセットを変更したが
症状を改善することが出来ずに17位ゴールという結果で
終わってしまいました。
この1年間でタイヤマネジメントにも自信が付き、
たくさん事が学べたと感じ取ることが出来ました。
1年間応援ありがとうございました。

#44 ドライバー 佐藤凌音 コメント



今回の茂木大会で、課題だったTTでの位置取りは
悪くはなかったです。しかし、その後のレースでは視野が狭く、
もうちょっと冷静にレースをしなければいけなかったです。
なので、来年はこのオフシーズンでレベルアップをして、
トップレベルで争って行きたいと思います。
今年、1年間の応援ありがとうございました！

INTREPID JAPAN CORSE 佐藤奨二 監督



今年最後のレースをあまり良い形で終える事が出来ずとても
悔しく思います。シーズンが終わり今年色々課題が出た事を
しっかり分析して、来シーズン更にチームを強くする為に今から
準備して行きたいと強く思います。今シーズンもたくさんの方々に
応援して下さいました事を心より感謝致します。
また毎年変わらぬご支援とご協力して下さいました
企業様にも大変感謝申し上げます。

